

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム 設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の小学生が新茶を摘んでもってきてくれた折には、利用者との交流会を毎年行っている。また、ボランティアの盆おどり保存会やおやじバンドが来訪したときには近所の人も参加している。隣接しているグラウンドで地域の人がグランドゴルフを始めると見に行き、顔見知りの人と出会ったりしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎に行われ、出席者は民生委員、包括支援センター職員、役場職員、家族、利用者などであり、職員は交替で出席している。会議の中で、ホームの困りごとを相談した際には、民生委員や行政職員や包括職員がすぐに解決に向け協力するなど、連携がよく取れている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は、「高齢者町づくり会議」の委員になっており、会議に出席して意見交換を行っている。また、市町村主催の研修には積極的に参加している。市町村職員より提案をもらい、ホームの運営に役立てている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者からは日常の会話の中でや嗜好アンケートをとり、好きな物を聞いて食事に取り入れるようにしている。年1度家族会を行い、多くの家族の参加が得られている。また、毎月各個人宛に職員の手書きの毎月の様子を作成し、家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				